



# 柏の葉だより



市川市立第五中学校

第3号 令和4年5月30日

## 「学校教育目標」

**学ぶ楽しさを知り 生きる喜びが分かる 心身ともにたくましい生徒の育成を目指す**

## 修学旅行・体育祭終了

令和4年度がスタートして、2か月が過ぎました。現在の3年生は新型コロナウイルス感染対策のため2か月間の休校措置から中学校生活がスタートし、様々な制限のかかった中学校生活です。特に学校行事の制限は中学生の気持ちに大きな不安を与えてしまっていました。しかし、今年度は、3年ぶりに修学旅行を実施することができました。旅行先でもマスクを外すことはできず、宿泊先のホテルなどでも感染対策を徹底しての3日間でしたが3年生は修学旅行を成功させようと、一人ひとりが感染予防を徹底し、協力できました。ホテルや新幹線でお菓子を食べながら友達と楽しい時間を過ごすなどのコロナ禍以前の修学旅行とはいきませんでしたが、3年ぶりの修学旅行を通して生徒たちの中には将来もう一度京都に行きたいと思う生徒が多くいました。



3日目、雨の奈良公園

修学旅行の2週間後はこちらも3年ぶり保護者の参観の下、体育祭を実施することができました。当日はPTA本部役員の方をはじめ、ご家庭や地域の方からも多くのご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。昨年度の学校だよりでもふれましたが、中学校の体育祭は体育委員会などの生徒が主体的に活動して行われることが特徴です。5月上旬からの日々の練習のため、早朝より準備してくれていた生徒がいます。本当にご苦労様でした。一人ひとりの生徒が、体育祭という大きな学校行事を体験して、確実に成長してくれました。また、3年生にとっては、修学旅行の日程と重なり、練習時間が限られていましたが、短い期間で集中してみんなで準備をして、体育祭当日はみんなで「祭・フェスティバル」を盛り上げ楽しむ主体的な活動ができた生徒が多かったようです。五中の体育祭の醍醐味の1つは、全生徒の参加による学級対抗リレーです。クラスが1つになり勝利に向かう過程が勝敗以上に大切なことだと気が付いた生徒がいたと思います。クラス一人ひとりの仲間が大切で、かけがいのない存在である事を感じることができました。体育祭を終了した時、多くの1・2年生の生徒が来年度の体育祭に向けた決意を抱き、また3年生は残された中学校生活を大切にしていこうと考えてくれたようです。



学級対抗リレー（本部席より）

## 進路保護者会

5月31日（火）、3年生の保護者に向けた進路保護者会が開催されます。3年間の中学校生活のなかで、進路選択は避けて通れない事です。また、中学校受験や大学受験と比べてみても、学校と保護者が同じ方向を向いてコミュニケーションをとっていくことが何よりも大切になるのが中学校での進路指導（高校受験）だと思います。まず、大切なことは中学校の進路指導は出口指導ではないことです。進学するには高校で何をするのか、明確な目的があることが大切です。もちろん高校へ進学してから自分の進路・目的・夢を探したいという生徒もまだ、多いと思いますが、中学3年生の今現在何がしたいのか、自分自身を見つめる事が大切です。2つ目は中学生が自分で選び・決定・実行・責任を取ることです。そのためには、学校や家庭が協力して共感的態度でお子さんに接することが大切になります。その上で、積極的に準備・発達を促すように援助していきます。本日の進路保護者会が、これからお子さんと進路について一緒に考える気持ちが高められる有意義な会となれば幸いです。よろしくお祈りします。（校長挨拶より・昨年度同文）

## 中学校教師を目指して

今年も5月16日（月）から6月3日（金）まで4人の教育実習生を受け入れました。大学4年生の彼らは、本校の卒業生です。7年ぶりに母校にもどっての実習になります。現在の大学生が教員免許を取得するためには大学で取得しなければいけない単位数も非常に多く、大学1・2年次には教員免許の取得を希望する学生は多いようですが、大学4年次の教育実習までたどり着く学生は非常に少ないようです。中学校教師は現在いろいろな事がマスコミなどで紹介され、いわゆるブラック企業と表現されてしまう現状があります。確かに学校現場の多忙化は現実問題として存在しています。教員の働き方改革は待ったなしの状態です。しかし身分が保証された安定した職業である以上にやりがいのある職業であることも事実です。今年度も本校に実習に来た4名の実習の姿勢はとて前向きで、本校の生徒にも良い刺激を与えてくれました。今回の4名の実習生に刺激されて、また、生徒たちがいつも接している教師という職業に興味と好感をもち、本校の生徒が数年後に母校にもどり教師を目指し教育実習する生徒が一人でも多く出てくれることを期待します。

## マスクの着脱・ジャージ登校について

市川市教育委員会より、新型コロナウイルス感染対策の新たなガイドラインが出されました。十分な距離の確保や会話を控えたうえで、マスクをはずすことができます。しかし2年以上におよぶマスク着用の習慣からか、学校や社会ではほとんどの人々が自宅内以外ではマスクをしています。また中学生の中には人前でマスクをはずした顔を見られることに抵抗がある子もいます。これからの夏場、熱中症など健康被害が心配されます。マスクの着脱につきましては、個々の実態や学習活動の場面によって柔軟に指導・対応してまいります。また、6月1日より、9月30日までの3か月間はジャージ（体操服）でも登校することが可能になります。よろしくお祈りいたします。

五中 HP を  
ご覧ください



<文責・川俣>